



vol.25

原稿：甘城・山口  
デザイン：甘城



## 目的に合わせたデザイン

(ちくぜんの魅力デザイナー 甘城)



3年目を迎えた今では、町中に自分がデザインした制作物を見るようになったの

で、二つ紹介します。一つ目は、7月21日(土)に開催された「桂春蝶独演会」のチラシです。平和を題材にした内容に合わせて、落ち着いたデザインでありながらインパクトのあるチラシに仕上げました。

二つ目は、ふるさと応援寄附金の返礼品に同封し寄附者のもとへ送るお礼状ポストカード。ちくぜんフォトコンテストで集められた町の魅力が詰まった四季折々の写真を使用しました。今後も魅力伝えるデザインを作っていくきたいと思います。

二つ目は、ふるさと応援寄附金の返礼品に同封し寄附者のもとへ送るお礼状ポストカード。ちくぜんフォトコンテストで集められた町の魅力が詰まった四季折々の写真を使用しました。今後も魅力伝えるデザインを作っていくしたいと思います。



▲表面(右)にはイラストを描きました

## 城山プチマルシェについて

(地域活性化プランナー 山口)



▲オレンジのテントが目印です!



城山マルシェ SNSリンク  
▲QRコードはこちら

昨年の3月から半年に一度、多目的運動公園で開催している「城山マルシェ」これを主催する農家さんたちが、今年6月から毎週日曜日に開いている直売市が「城山プチマルシェ」です。一袋100円から新鮮な野菜を販売しています。

このイベントを多くの人に知ってもらうべく、InstagramとFacebookを始めました。城山地域で育てている野菜の情報や11月開催の城山マルシェの準備の様子を発信しています。QRコード(右記)を読み取って、是非チェックしてみてください!

### ちくぜんフォトコン 2018

～秋・冬の部～

撮影した写真にInstagramでハッシュタグ  
「#ちくぜんフォト2018」  
「#ちくぜんフォト」  
の2つを付けて投稿!

応募期間：2018年9月1日(土)～2019年1月31日(木)  
テーマ：筑前町の魅力が伝わる写真

問合せ先 筑前町地域おこし協力隊(担当:武田) 詳細は、instagramアカウント  
takeda.chikuoko@gmail.com [chikuzen\_okoshi]を検索

### 地域おこし協力隊とは?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期:最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック!各SNSにもアクセスできます!

筑前町地域おこし協力隊 検索

## イチニチクゼン

町内の人からすると何気ない日常。しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見! 筑前町の良さを見つけるコーナー。

地域おこし協力隊 | 地域活性化プランナー  
**ayaka\_yamaguchi**

7月6日に発生した豪雨の影響は凄まじいものでした。筑前町も例外ではなく、ある矢山キュウリの畑は2メートルもの浸水被害を受けたとのこと。しかし、その後農家さんから「矢山キュウリが復活した」との報告が。野菜の生命力の強さに感動しました。写真は、この「奇跡の矢山キュウリ」のものです。

●地域おこし協力隊通信記事の過去掲載分は公式ホームページに掲載しています。